

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 2年 6月 8日

福岡県知事 殿

大牟田市宝坂町2丁目19番地1

提出者 地方独立行政法人
住所 大牟田市立病院
氏名 理事長 野口和典
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0944-53-1061

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	地方独立行政法人大牟田市立病院
事業場の所在地	福岡県大牟田市宝坂町2丁目19番地1
計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	医療業
②事業の規模	320床
③従業員数	530名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>病院(病棟・診察室・検査室・手術室・処置室・薬剤室等)</p> <p>↓</p> <p>感染性廃棄物 廃油 廃酸</p> <p>↓ ↓ ↓</p> <p>専用保管庫</p> <p>↓ ↓ ↓</p> <p>委託運搬業者</p> <p>↓ ↓ ↓</p> <p>委託処分業者</p>



(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<p>(管理体制図)</p> <p style="text-align: center;">特別産業廃棄物管理責任者 (副院長) ↓ 廃棄物管理責任者 (総務課 主査) ↓ 廃棄物管理担当者 (総務課 担当)</p>			
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 (令和 元 年度) 実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
	排 出 量	69.550 t	0.635 t
	(これまでに実施した取組) 医療従事者と協議し、適正廃棄について継続的に取り組んでいる。 また、感染性廃棄物と産業廃棄物の分別に努めた。 廃油においては、使用量の適正化に努めた。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
	排 出 量	68.854 t	0.628 t
	(今後実施する予定の取組) 現在感染性廃棄物として処分している容器を、一部プラスチック容器から段ボール容器へ変更を行って軽量化し、排出量の軽減に努める。 廃油については、継続して適正使用量を維持する。		
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 医療従事者と連携し排出量の軽減に努めている。		
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する) 継続的にラウンドを実施し、適正な分別実施を現場にフィードバックする。		

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特に無し。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 自ら再生利用を行う予定無し。		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) 特に無し。			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) 自ら中間処理を行う予定は無し。			

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特に無し。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 自ら埋立処分を行う予定は無し。		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
	全処理委託量	69.550 t	0.635 t
	優良認定処理業者への処理委託量	46.100 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組) 委託契約は、法令を遵守しかつ適正な処理を行う許可業者を選んで契約をしている。またマニフェストについては、電子マニフェストを導入し、帳簿の管理を適正に行った。			

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
	全処理委託量	68.854 t	0.628 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	68.854 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・今後も法令を遵守しかつ適切な処理を行う 許可業者を選定する。		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度(令和元年度)実績】		
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	70.185 t	
	(今後実施する予定の取組) 2020年度より特別管理産業廃棄物ほか全ての産業廃棄物を 電子マニフェスト化済。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。